当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】
CT 灌流画像を用いた急性期脳梗塞の病型診断と予後に関する検討

＊CT 灌流画像：脳の血流を画像化する方法

【目的】
急性脳動脈閉塞は予後不良な疾患ですが、閉塞した動脈の再開通を早期に図ることにより、治療における症状の経過や結果を改善できる可能性があります。当院では、救急外来に設置されている CT スキャン装置に解析ソフトウェアを用いて、脳血流を画像化する方法を急性期脳卒中診療に採用しています。この CT 灌流画像検査を実施した方の急性期脳梗塞の診断・治療内容・治療成績・予後に関するデータを収集・解析することで、適切な治療選択や治療方法の確立に役立てることを目的としています。

【対象】
2021 年 1 月から 2024 年 12 月までに、急性期虚血性脳卒中を疑われ、当院救急外来にて CT 灌流画像検査を受けた 18 歳以上の方

【方法】
診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは当院内で、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】
収集した情報は、特定の個人を識別することができない状態で利用しますので、お名前などの情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】
診療記録（年齢、性別、既往歴・合併症、最終未発症時刻、発症確認時刻、病院到着時刻、来院時神経学的重症度、脳梗塞の病型、CT 検査結果、治療内容、術後経過、退院後の経過、脳梗塞再発の有無、発症後 90 日時点の日常生活自立度 等）

【試料・情報の取得方法】
診療記録より収集
なお、この研究では発症後 90 日時点の日常生活自立度を確認しています。研究の対象となる方が転院される場合は、ご本人または代諾者の方に同意をいただいた上で、発症後 90 日前後に当院を受診いただくか、転院先の施設から情報提供を受けます。

【研究期間】
倫理委員会の承認が得られてから 2025 年 12 月 31 日まで

【研究責任者】
横浜市立市民病院　脳血管内治療科　増尾 修
＊この研究は横浜市立市民病院のみで行います

【試料・情報の管理責任者】
横浜市立市民病院　病院長　小松 弘一

【連絡先】
横浜市立市民病院　〒221-0855　横浜市神奈川区三ツ沢西町 1 番 1 号
電話 045-316-4580（病院代表）　脳血管内治療科　増尾 修

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。
また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。